

## 立教学生キャンプストアの活動意義

### 【活動意義】

広告研究会は広告の研究活動と実践を目的に活動を行っており、館山市北条海岸における立教学生キャンプストアは研究活動の実践の場として、創部以来、58年の実績を重ね、今年では第59回を迎えます。広告研究会の活動として広告研究はもとよりキャンプストアにおいてはプランニングからスポンサー獲得、そして営業までマーケティング活動全般に係っており、キャンプストアは学生として、それらの活動を表現できる場であると同時に研究に留まらず実践することで手ごたえを掴み、研究及び活動の結果を肌で感じる事ができます。また企業の方に協力をして頂く中で社会人の方と関わったり、館山市内のお店や以下に挙げるイベントの中で地元の方と協同したりすることは、観光地の活性化に一石を投じると共に、相互理解に繋がると考えています。

森永乳業さんが各大学の広告研究会に対してメインスポンサーとなり始まったこのキャンプストアは半世紀以上に亘る伝統の継承の場としても考えています。また、キャンプストアの運営には合宿が伴い、夏季の約2カ月間に及ぶ合宿生活は学生生活にとかく失われがちな、社会性、協調性、助け合いの精神を養う貴重な場と捉えており厳しい規律の中で生活はこれからの人生の中での人間関係を良好に築くための社会人基礎力を育みます。加えて、広告研究会活動の三番柱の一つである研究局においてお店にて実際に目玉商品として販売するドリンクメニューを新規開発し、毎年変わり続ける社会状況に合わせて、マーケティングの研究をした上で実際にお店にて販売します。また以下に掲げるコンセプトを踏まえ、館山市内の飲食店とは違う大学生にしかできないお店作りを心掛けています。広告活動の実践を学生のみで行うということは授業やアルバイト、またインターン等では得られることのできない、計画を試行錯誤の中で実行し結果を出すということや自分たちで考えた企画、広告プランの成果が分かり、失敗を今後の生活に活かせるという利点があります。以上のような観点から立教学生キャンプストアの活動意義は課外活動として非常に大きな意義があるものと認識しています。

### 【コンセプト】

立教学生キャンプストアは一年を通し、僅か2カ月間の館山での活動に成りますが、コンセプトは次のように考えています。

1. 学生が経営する海の家として、健康・笑顔・若さ・明るさを前面に表し、経営する。
2. 短い期間で有っても、館山市民の一員、店舗経営の意識を持って活動して、ご来店いただいたお客様に丁寧な接客をして、再度館山へキャンプストアに来たいと思っていただく接客をする。
3. 地元の方、観光客、海水浴客など様々なお客様の立場やニーズに合わせ、またその時代その時代のトレンドも考慮し、メニューや内装等のお店づくりを考える。

4. 商品の提供、イベントの開催などを通じ、広告学や経営学の研究を超えた実戦感覚を身につける。
5. 我々立教学生が館山で何ができるか考え地域住民や施設との共生、協働を図り活動する。
6. 立教大学の学生として、大学の名誉を傷付けることの無いよう活動する。

以上をコンセプトとしてあげ、館山という地でキャンプストアが 58 年続いた事に着目し立教大学の学生として節度ある活動をしながら館山に根差した経営を行っていくことをより一層目指していきたい。

## 【イベントについて】

期間中の主なイベントは次の通りです。

### 1. キャンプストアフェスティバル

広告研究会主催の地域密着型を意識したイベントです。プログラムはミス、ミスター立教コンテスト候補者を招き、候補者のお披露目とトーク、ビンゴ大会、ゲストミュージシャンによるライブを企画しています。また、今年度は館山市、ショッピングモールの後援により市内の大型ショッピングモールでの開催を企画しています。

運営はキャンプストア役員 7名～10名を予定しています。

### 2. 館山湾花火大会協賛

花火大会は夏季の館山市最大のイベントでキャンプストアの前面の栈橋がメイン会場となり開催され、毎年13万人の人出で大いに賑わいます。当日はキャンプストアの前に露店を出店し、営業を行います。その為に、毎年、事前にメニューなどの検討を行い販売いたします。また、露店の出店に係る宣伝や露店を飾る看板など、人ごみの中でも目立つ工夫を行います。

運営は時間制でシフトを敷き、スタッフ10名を予定

### 3. フォトギャラリー企画

今年我々広告研究会と館山市とタイアップしまして、フォトギャラリー「campstore×tateyama～59年の学生たちの軌跡」と題しまして写真の展覧会企画を運営してまいります。これは、歴代のキャンプストアの店頭写真や館山市内の飲食店あるいは町並みの写真を集めまして店内はもちろんのこと、駅の展示スペース等で写真を展示します。今年初めて行う企画ではありますが、企画自体は展示のためスタッフを動員する必要がありません。キャンプストアや館山の歴史の変遷を知ることで、地域住民はもとより広告研究会のOBの皆さんも懐かしむことができます。

以上の通りです。

平成24年5月7日

立教学生キャンプストア第59回店長

大 関 輔